

『破蕾』 沖方 丁 著

(分類:Fウ)

旗本の屋敷を訪ねたお咲を待ち受けていたのは…。「咲乱れ引廻しの花道」をはじめ、許されざる逢瀬に興じる男女の、狂気と艶美の悦びを描いた全3編を収録。『小説現代』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。



『ふたりぐらし』 桜木 紫乃 著

(分類:Fサ)

元映写技師の夫、信好。母親との確執を解消できないままの妻、紗弓。一緒にくらすと決めたあの日から、少しずつ幸せに近づいていく。そう信じながら、ふたりは夫婦になり…。『小説新潮』掲載に加筆・修正して単行本化。



『襲来 上・下』 帚木 蓬生 著

(分類:Fハ)

僧侶・日蓮は、幕府が法華経を用いなければ、国内の災害が続く他国からの侵略を受けると予言した。日蓮に仕えていた見助は、その耳目となって予言を確かめるため、九州の対馬に一人で赴くことに…。元寇の真実を描く歴史長編。



『蝶のゆくへ』 葉室 麟 著

(分類:Fハ)

北村透谷や島崎藤村らが教師を務める明治女学校に学ぶ星りょう(後の相馬黒光)は、自分らしく生きたいと願い、葛藤する新時代の女性たちと心を通わせていき…。歴史長編。『小説すばる』連載を単行本化。



『星をつなぐ手 桜風堂ものがたり』

村山 早紀 著

(分類:Fム)

桜風堂書店を託され、昔の仲間たちとともに「四月の魚」をヒット作に導いた一整。しかし地方の小さな書店では人気作の配本がなく、出版の営業も相手にしてくれない。そんな折、昔在籍していた書店のオーナーから呼び出され…。

